

01-02 ブックを開く

▶ ダイアログボックスを表示してブックを開く…FindFile メソッド

ダイアログボックスを表示し、ユーザーに選択させてブックを開きます。

課題

使用ファイル:「Sample5」
ユーザーにブックを選択させて開くプロシージャを作成しましょう。
作成後、「Open」を開きましょう。(プロシージャ名:Test5_2_1)

構文:Application.FindFile

▶ コードを記述しましょう。

```
Sub Test5_2_1()
    Application.FindFile
End Sub
```

▶ 保存場所を指定してブックを開く…Open メソッド

ファイルのフルパス (保存場所とファイル名) を指定し、ブックを開きます。

■ Open メソッドを使って既存のファイルを開きます。

課題

使用ファイル:「Sample5」
Cドライブの「Data」フォルダーにある「Open」を開くプロシージャを作成
しましょう。(プロシージャ名:Test5_2_2)

構文:Workbooks.Open Filename="ブック名"

■ ブックはフルパスで指定して開きます。

フルパス指定とは、「ドライブ名→:¥→フォルダー名→¥→ファイル名」と、上位のドライブからファイルの場所を指定することです。フォルダー名とファイル名の間やフォルダー名とフォルダー名の間は「¥」で区切ります。

「¥Open.xlsx」と「¥」に続けてファイル名を入れないとエラーになります。

▶ コードを記述しましょう。

```
Sub Test5_2_2()
    Workbooks.Open Filename:="C:¥Data¥Open.xlsx"
End Sub
```

MEMO

▶ 最近利用したブックを開く

Application.RecentFiles (Index) .Openで、最近使用したブックを開きます。Indexには開くブックが最近使用したブックから数えて何番目かを指定します。例えば3番目であれば(3)を指定します。

MEMO

ブックを開くことは、ブックの集合体 (Workbooksコレクション) に、新しいWorkbookオブジェクトを追加することです。したがって、ブックを開くためには、WorkbooksコレクションのOpenメソッドを使用します。また、新規のブックを開く場合はWorkbooksコレクションのAddメソッドを使用します。

MEMO

引数Filenameにブック名のみを指定した場合は、カレントフォルダー内のファイルを対象とします。カレントフォルダーの調べ方や指定方法は次のレッスンで学習します。

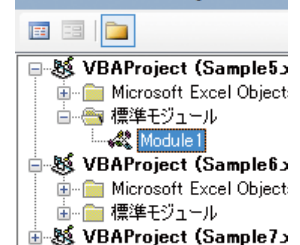
MEMO

▶ プロジェクトエクスプローラー

ツリー状にファイルの位置などを表示します。

複数のブックを開いて、コードを記述する際には、記述するブックを間違えないようにしましょう。

プロジェクト - VBAProject



■ ブックが保存されているパスを調べます。

フルパスで指定をするためには、ブックの保存場所を調べる必要があります。Path プロパティを利用すると、ブックのパスを取得できます。

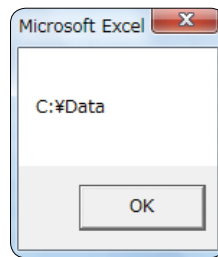
課題

使用ファイル:「Open」
「Open」が保存されているパスをメッセージボックスに表示するプロシージャを作成しましょう。
(プロシージャ名:Test)

構文: ワークブックオブジェクト.Path

▶ コードを記述しましょう。

```
Sub Test()  
    MsgBox ThisWorkbook.Path  
End Sub
```



■ Path プロパティで調べたパスを利用します。

「ThisWorkbook.Path」はコードが記述されたブックのパスを返します。そこで、プログラムを記述するブック「Sample5」と、開くブック「Open」が同じフォルダーに存在する場合は、Path プロパティが利用できます。ブックを別の場所へ移動してもコードの修正が不要なので、汎用性があります。

▶ 「Sample5」ブックの「Test5_2_2」のコードを変更しましょう。

```
Sub Test5_2_2()  
    Workbooks.Open ThisWorkbook.Path & "¥Open.xlsx"  
End Sub
```

実習 4 使用ファイル:「Sample5」

- 【1】 「Sample5」と「Sample6」のブックは同じフォルダー内にあります。「Sample6」ブックを開くプロシージャを「Sample5」ブック内に作成します。Path プロパティでブックが保存されているフォルダーのパスを調べ、その結果を変数に代入する方法で、「Sample6」ブックを開くプロシージャを作成しましょう。
(プロシージャ名:Test5_2_3)

MEMO

▶ Path プロパティ

ファイルが存在する位置を表すのが「パス」です。Path プロパティではワークブックがどのフォルダーに保存されているかを知ることができます。

Application.Path

エクセル本体のパス

ThisWorkbook.Path

コードが記述されたブックのパス

ThisWorkBook.FullName

コードが記述されたブックのフルパス

使用例

コードが記述されたブックが保存されているパスを取得し、セルA1へ入れます。

```
Range("A1") = _  
    ThisWorkbook.Path
```

2つ目のワークブックが保存されているパスを取得し、セルA2へ入れます。

```
Range("A2") = _  
    Workbooks(2).Path
```

MEMO

開くファイルは「Filename="ブック名"」と記述します。引数の1つ目のオプションなので、「Filename=」は省略できます。

! HINT

- 文字列型の変数「myPath」を宣言します。
- 変数に ThisWorkbook.Path を代入します。
- Open メソッドの引数 filename に myPath & "¥Sample6.xlsx" を指定します。